

Meiji Gakuin Alumni Association News

明治学院同窓会 News | 2018 MAY

DO FOR OTHERS 第21号より抜粋



明治学院同窓会
Meiji Gakuin Alumni Association

同窓会 インフォメーション

今号は、女性の同窓会「くらら会」を紹介します。



▶ 明治学院同窓会はこちら
<http://meigaku-dosokai.jp/>

▶ 同窓会とは？

明治学院同窓会は明治学院の各学校すべての卒業生の組織です。

ひとりでも参加しやすい同窓会をモットーにしています！



2017年3月「横浜キャンパスツアー」 クラララウンジで昼食。

女性同窓生の皆様、 「くらら会」へご参加ください

明治学院同窓会ウイメンズクラブ「くらら会」は、2014年に設立された女性の同窓会です。名称は、ヘボン博士の夫人「Clara」からの命名です。同窓会の中では、地域性を持たない支部として位置付けられています。会の趣旨を、「会員相互の研鑽、親睦。併せて母校及び同窓会・支部活動の活性化に寄与すること。さらに女性の感性を伸ばし、持てる力を活用して、在学生

支援及び社会支援活動をする」と定めています。同窓会の集まりに出ますと、最近では女性の参加者も増えてはいますが、全体的には男性が圧倒的に多く、女子学生が多い明治学院としては非常に淋しい状態です。結婚・家事・育児・仕事・介護等々、男性の理解があっても同窓会への参加は実際には、なかなか思うようにいきません。設立から4年目、現在会員は、120名ほどです。「くらら会」では親睦を目的とした集まりの他に、主要な活動として震災の被災地支援活動を行なっている明治学院大学ボランティアセンターの活動資金を応援するためのバザーを毎年3回実施しています。会員から寄贈された衣服や雑貨をバザーという場を通して現金化し学生達の活動費として提供しています。バザーは会としての社会的支援活動であると同時に、会員が自宅で無理をせずに参加できる同窓会活動であると位置づけています。各自の参加方法は異なっても、「くらら会」(同窓会)の活動につながっているのです。全国各地で女性の会が出来始めてい



2017年12月「クリスマスの集い」 サンタクロースが今年もやってきました。

ます。今後はそれぞれが独立した組織を持ちながら、何らかの形で繋がって行けば、同窓会の大きな底力になるのではないのでしょうか。「くらら会」は、多くの方のご理解・ご協力を頂きながら、今後も歩みを進めて参ります。

イラクから東村山まで 人々の生きざまを記録する

時代変化で紛争地帯から地元へ被写体をシフト。それでも写真家として現場に向き合う基本は変わらない。自分にしか撮れない写真で、今の時代を記録したい。



報道写真家
片野田 斉さん

〈プロフィール〉
1960年2月14日生まれ
1978年明治学院東村山高等学校卒業
1983年明治学院大学経済学部商学科卒業
大学卒業後、カメラマンの道に。2001年
米国同時多発テロ事件に衝撃を受け、パキ
スタン・イスラマバードへ。以後、アフガニ
スタン、パレスチナ、イラク、中国、北朝鮮
などを取材。東日本大震災では翌日から現
地入りし、写真展を半年間にわたり開催。



2002年パレスチナにて。防弾ヘルメットと防弾チョッキを身に付けて、取材活動を行っていた。

——東村山のご出身ですね。
地元でもあり、中学から明学
です。お坊ちゃん学校だったし、
近隣中学が詰襟の中、ブレザー！
エンジのネクタイで恥ずかし
かったですね。男子校の反動で、
大学では女子が多い英文タイブ
部に入りました。その仲間とは
今も毎年集まるほど結束力が強
く、一生の宝です。

——現在の仕事の魅力はどのよ
うなところですか？
大学卒業後に写真を撮り始めまし
た。戦場へ赴き出したのは20
01年の米国同時多発テロ事件
以降です。恐怖心以上に、いい
写真を撮りたい一心でしたね。
これだという一枚が撮れた時に
は心が震えました。
ところが10年ほど前から出版

不況に陥り、海外取材も減りま
した。そんな時にパレスチナ・
ガザ地区の友人写真家を思い出
しました。彼は生まれ育った地
がたまたま戦場になり、その故
郷を記録していたのです。私も
地元で意味のある何かを撮れな
いかと考えました。そんな折、
地元・東村山にあるハンセン病
療養施設の回復者のご夫婦に出
会い、写真を撮らせてもらうよ
うになり、写真集や児童書に出
版にまで至りました。来年度か
ら小学校の道徳の教科書でも紹
介される予定です。
——今後の展望をお聞かせくだ
さい。
ある程度の情報がただで瞬時
に飛び交うネット時代に報道写
真家として生き残るには、写真
の貴重性〓自分しか撮っていな
いこと、が重要だと考えます。
それもほとんど写真が残されて
いないハンセン病を撮影させて
いただく契機でした。「地の塩、



東村山時代の同級生（右から山神雄一さん、大野善弥さん）と。
米国在住の山神さんが一時帰国し、昔話に花が咲いた。

〈編集後記〉

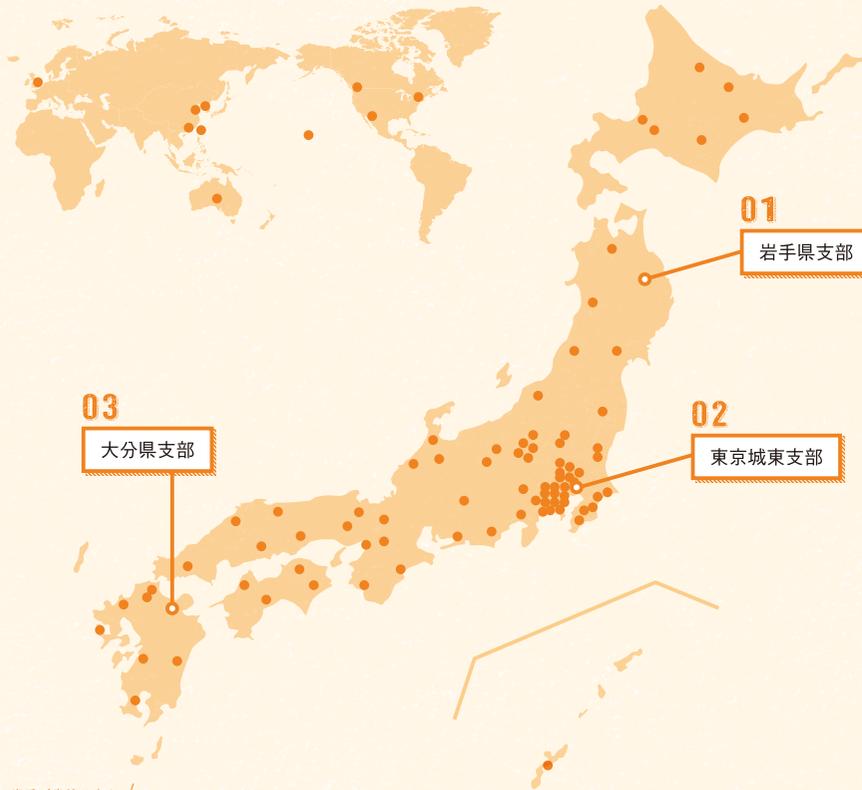
戦場のみならず被災地や身近な地元など、さまざまな現場で写真を撮影している片野田さん。写真集をはじめ、書籍、写真展をはじめる機会も多くあります。ぜひご覧ください。

世の光」という聖書の言葉があります。その教えのような、明
学時代に叩き込まれた〓明学イ
ズム〓が自然と形になっている
卒業生が多いと思いますよ。
——今後はテレビの仕事ベース
に、新しいテーマを見つけたら、
地道に撮影して、本にまとめ発
信していきたいです。

支部 紹介

毎号、全国・海外にある支部を順次ご紹介しています。今号は、岩手県支部、東京城東支部、大分県支部です。それぞれが情報交換の場として独自の企画・イベントを開き、皆さん楽しんでいらっしゃいます。

▶ 明治学院同窓会支部はこちら
http://meigaku-dosokai.jp/?page_id=5



交流が続きます。
特に、支部に
あつては中・高・

今年度の支部総会参加者は十八名。毎回何名か初参加や若い方の参加があります。同窓という安心感から年齢を超えて賑やか活発な場、続く二次会でも時を忘れ、楽しい

北 北海道に次ぐ広い県、いわて。歴史と文化など多くの魅力に満ちています。会員数は約三百名。県内各地に在住し、盛岡中心とせざるを得ないのが広い県土ゆえの悩みです。

大一緒。会員相互の連携・一体性という面からも「オール明学」の早い実現を期待しています。
東日本大震災大津波に襲われ早や六年九ヵ月。復興は遅々として進まない状況ですが、仙台や白金での復興支援同窓会の開催など、同窓会の皆様には様々なご支援をいただきました。改めてこの場をお借りし御礼申し上げます。



篠谷 隆
岩手県支部長
(1968年商学科卒業)

01 | 岩手県支部

世界から、
熱いまなざし…
リニアコライダー
誘致へ加速



02 | 東京城東支部

東京ブロック 9番目に出来た 新しい支部です

東

京城東支部は、東京都内の支部のない空白地域の中の台東区・墨田区・江東区・荒川区・足立区・葛飾区・江戸川区の計7区の在住・在勤の同窓生が中心となり、設立準備委員会の下、2017年9月9日第一回設立総会、懇親会を明治学院大学本館にて60名の参加により開催のはこびとまりました。

総会にて、設立準備委員会の提案した役員人事、支部会則は参加者全員の承認を受けることが出来ました。総会終了後行なわれた懇親会では参加者が歓談する中で進



幸田 剛
東京城東支部長
(1969年社会学科卒業)

行し、宴のしめくくりとして大学応援団チアリーダーング部による応援歌、リーダー部指導のもとで校歌斉唱があり、来年の再会を約束して散会いたしました。

今後は年一回の総会及び他支部にて行なわれている活動を参考にしながら、支部活動の充実を図っていきたくと思っております。



東京城東支部設立総会集合写真

03 | 大分県支部

大分県支部設立 30周年にあたり

大

分県支部は、平成元年8月16日に発起人である佐藤隆二、岩堀行宏、藤澤孝文、比永逸雄、釘宮磐、島根純一（敬称略）の6名の声掛けによって設立・発会され、会則・予算・決算報告・行事計画などを取り決めました。登録会員数は約230名。以来毎年総会を開催し、平成30年には30回目の開催を予定。これまで毎回コンスタントに30〜50人を超す出席があります。平成7年11月11日に全国の同窓会5会場を、当時としては珍しい衛星放送で繋ぎ、同時発信するなどエピソードには事欠きませ

るなどエピソードには事欠きませ



ん。平成20年の20回目では、ゲストとして村山元総理大臣（お孫さんが明学生）をお招きし、政治・外交の話に興味深く拝聴いたしました。これらの実績は、元支部長佐藤隆二様による長年の多大な尽力に他なりません。佐藤元支部長、比永前支部長の後任として責任の重さを十分感じておりますが、大分県支部役員・会員の皆様のご支援をいただきながら何とか果たしていきたいと思っております。

ん。平成20年の20回目では、ゲストとして村山元総理大臣（お孫さんが明学生）をお招きし、政治・外交の話に興味深く拝聴いたしました。これらの実績は、元支部長佐藤隆二様による長年の多大な尽力に他なりません。佐藤元支部長、比永前支部長の後任として責任の重さを十分感じておりますが、大分県支部役員・会員の皆様のご支援をいただきながら何とか果たしていきたいと思っております。



亀島 栄司
大分県支部長
(1975年経済学科卒業)



2017年白金祭でのマンドリンクラブの演奏



第9回同窓生・現役学生交流会でのLMS加山雄三バンド

明治学院大学同窓会活動紹介

明治学院大学同窓会会長 中野 薫
(1986年法学部卒業)

明治学院大学同窓会は、活動のメインテーマである「同窓生の親睦・交流」そして「現役学生への支援」の二本柱を実践してまいりました。

2017年は恒例となりました白金祭への参加、「ライブ&カフェ」をパレットゾーン1階に出店しました。ステージも年々スケールアップして、ライブもマンドリンクラブをはじめ3サークルが出演し、OBは8のグループ・個人が熱いステージを見せてくれました。初出場の合唱団グリーン・リーヴスOB会は全国から22名のOB・OGが集まり、校歌をはじめとした素晴らしいパフォーマンスで会場の同窓生・父兄の感動を呼びました!

もうひとつの行事としては「第9回現役学生・同窓生交流会」を、11月19日にパレットゾーンさん・サンに於いて開催しました。今回は文化団体連合会執行部・加盟サ-

クルの協力により、文連会が誇る音楽系団体の演奏などで同窓生を感激してくれました。

今年度のテーマを「後輩と語ろう!先輩と語ろう!」とし、初めての試みとして交流会開催前に本館10階大会議場で「キャリア応援イベント」を開催してみました。このイベントは「ヘボン経済人会」のご協力や運営委員の人脈などを

とどおり、若手同窓生中心の相談員と就活生である3年生を中心に、先輩後輩で就活や学生時代、社会人になってからの生き方など語ってもらおうという会でした。相談員同窓生43名、学生は約100名の参加となり、下級生の姿もあり学生達の就活に対する熱心な姿勢が伺えました。今回は文連会の学生中心でしたが、次回はサークル4団体、あるいは一般学生にまで対象とするか今年の課題としたいと思います。

ともあれこの白金祭・交流会の

第9回同窓生・現役学生交流会での管弦楽団のオープニング演奏



ふたつの行事を通して、「同窓生の親睦・交流」、「現役学生への支援」の目的が多少なり果たされたのではないかと思います。

そして同窓生有志の皆さんより交流会バザーの為に、貴重な献品を頂き誠にありがとうございます。当日はボランティアセンターの職員の方と学生によるブース展示と合わせて、バザー出店をして多くの皆さんにご購入いただきました。そして「白金祭ライブ&カフェ」の売上金と合わせて、合計13万6千472円をボランティアセンターに寄付いたしました。ありがとうございました。

大学同窓会による寄付金は

賀川豊彦を知っていますか？ 記念館へどうぞ！

明治学院同窓会は2017年から3年にわたり賀川豊彦先生の功績を検証しようと考えております。一度お近くの記念館・資料館を訪ねてみませんか。

賀川豊彦記念松沢資料館

〒156-0057 東京都世田谷区上北沢3-8-9
TEL 03-3302-2855

- ▶ 休館日 日曜日・月曜日
- ▶ 開館時間 午前10時～午後4時30分
- ▶ アクセス 京王線 上北沢駅から徒歩3分



賀川豊彦記念館 (神戸)

〒651-0076 兵庫県神戸市中央区吾妻通5-2-20
TEL 078-221-3627

- ▶ 休館日 日曜日
- ▶ 開館時間 午前10時～午後5時
- ▶ アクセス JR、阪急、阪神、地下鉄 三宮から徒歩15分
阪神 春日野道から徒歩7分
阪神バス 吾妻通4丁目 下車 西へ徒歩1分



鳴門市賀川豊彦記念館

〒779-0225 徳島県鳴門市大麻町松字東山田50-2
TEL 088-689-5050

- ▶ 休館日 第4月曜日
- ▶ 開館時間 午前9時30分～午後5時
- ▶ アクセス 車 藍住ICより10分、板野ICより7分
JR 板野駅より徒歩20分
高速バス 「鳴門西」バス停下車徒歩10分



キャリア応援イベント

2011年から合わせて130万円を超えました。これも同窓生皆さんのおかげと感謝申し上げます。

明治学院大学のボランティア活動は戦前から実績があり、他大学の活動と比べても先駆者的な活動をしてきました。このことは明学の校風ともいえると思います。

ボランティアセンターは1998年に設立され今年で20周年になります。東日本大震災支援でもいち早く行動に移し、現在も継続的に大槌町吉里吉里復興支援活動など展開しています。大学同窓会の寄付金もこうした学生達の活動資金

の一部となっている訳です。

今後も大学同窓会はボランティアセンターの活動をより一層支援していく所存ですので、皆さまもご協力の程よろしくお願いいたします。

2018年は更なる同窓生と学生への支援・交流を深めていきたいと考えております。具体的に、11月1日～3日白金祭に於いて、「ライブ&カフェ」をパレットゾーン1階に出店します。今年も同窓生・学生のバンドやグループが出演してくれます。同窓会支部の皆さままで出演希望の方がいらしたら、ぜひ大学同窓会までご連絡

絡ください。

そして12月2日(日)にパレットゾーン2階さん・サン広場に於いて、「第10回同窓生・現役学生交流会」を開催します。今年度は体育会執行部の協力により、加盟部の活動紹介や「キャリア応援イベント」を企画しています。ぜひ就活生の相談員やボランティア活動の支援などご協力のほどよろしくお願いいたします。

どうぞ同窓生の皆さまも一緒に同窓会活動を盛り上げていきましょう。

今年度も明治学院大学同窓会をよろしく願っています。

株式会社明治学院サービスは、
学校法人明治学院の100%出資会社です。
学校の周辺業務を事業化し効率的効果的な
各種サービスの提供を行い、
その収益を教育事業に還元することを
目的としています。

【主な業務内容】

◆人材派遣ビジネス

明治学院（明治学院大学、高等学校、中学校等）及び教育機関や他学校を中心に学校事務に特化した人材派遣を行っています。学校関連企業として相応しい質の高いサービスの提供に努めています。

◆明治学院白金チャペルでの結婚式

当事者のいずれかが、同窓生、現・元教職員、法人役員またはそれらの近親者の方であればお申し込みいただけます。本学はプロテスタントのキリスト教信仰を建学の精神としており、礼拝に準じる儀式としての挙式を行います。

◆学生総合保険・海外旅行傷害保険・火災保険・自動車保険（バイクを含む）・医療保険などの代理店業務を行っています。

◆白金校舎パレットゾーンの食堂・横浜校舎のインターナショナルカフェの運営管理をしています。

◆新入生、在校生に対するお部屋探し・住替えのご相談受付、明治学院大学女子寮「セブンレンス館」の運営管理をしています。

◆大学ロゴグッズ、バッハアカデミーのCD、自動販売機での飲料の販売をしています。



株式会社 明治学院サービス

〒108-0071 東京都港区白金台1-2-37

Tel 03-5421-1555 Fax 03-5421-1556

URL: <http://meijigakuin-s.co.jp/>

【お問合せ先】

明治学院同窓会事務局 〒108-8636 東京都港区白金台 1-2-37 TEL 03-5421-5190 (FAX 03-3441-0970) (事務取扱い時間 9:00～16:00)
<http://meigaku-dosokai.jp>